

# たみなっ子



知名町田皆1653  
知名町立田皆小学校  
TEL 93-2282  
発行責任者 野村 さみ子

## オリンピック選手のように

### 校長 野村 さみ子

夏休みが無事に終了します。子どもたちはどんな夏休みを過ごしたでしょうか。ラジオ体操と田皆ヤッコの練習を毎朝続ける子どもたちを見て、すばらしいとつくづく感心します。それを指導されている保護者や地域の皆様の支援に頭が下がります。田皆は、地域が教育熱心で、すばらしい伝統が脈々と受け継がれているから、子どもが健全に成長していると感じます。

さて、今年の夏はオリンピックが開催されました。コロナ禍の中、開催がやぶまれましたが、無観客の中、選手たちは、練習の成果を存分に発揮し、全集中して本番に臨んでいました。金メダルをとってはじける笑顔で、インタビューを受けていた選手も心に残りましたが、負けて悔し涙を流し、歯をくいしばる選手にも感動しました。①夢(目標)に向かってこつこつとさまざまな努力を続けてきたこと②本番に全集中して、正々堂々とフェアプレーで取り組んだこと③支えてくださった方への感謝の気持ちをきちんと言葉にしていること④次への夢や信念を話してくれたこと⑤日本人の礼儀正しさや親切などのおもてなしの心が、全世界から絶賛されていたことなどオリンピックからたくさん夢や勇気や感動をもらうことができました。

さて、二学期は多くの行事があります。各行事を通して、一回りも二回りも成長できるように、積極的に挑戦していきましょう。そのためには、まずは健康が一番です。「早寝・早起き・朝ご飯」のリズムと質の充実に取り組んでください。また、心に悩みがあったら、いつでも気軽に相談できる関係を築いていきましょう。そのためには、日頃のコミュニケーションが大事です。

田皆小の子どもたちが、オリンピック選手のように、夢(目標)をもって、前向きに努力し、自分を愛し、周りの人も幸せにする人に成長できるように、田皆小職員一同、力を合わせます。二学期もどうかよろしくお願いいたします。

## 1学期を振り返り2学期に生かす

1学期の反省を保護者や児童、職員からとりました。それを通して、2学期に生かしていく重点項目について、お知らせします。  
○ コロナ禍の中、今後もさらに臨機応変の対応が求められる。「新しい生活様式の習慣化」を行い、家庭と連携し、学校をクラスターにしないように努める。  
○ 田皆小4つの実践「歩いて登校」「止まってあいさつ」「門礼」「靴のかかとを揃える」はほとんどの児童がよくできている。今後も様々な活動で、上級生が下級生を支援する体制の構築を図る。

○ 一事徹底の「大きな声で、あいさつ・返事をしよう」では、あいさつはよくできるが、返事の声が小さい児童がいる。繰り返しの声掛けをし、自信を高める。  
○ GIGAスクール構想に向け、タブレットの使用やICTを活用した教育の推進に努める。

○ 言葉遣いに気をつけ、小さなけんかやトラブルを減らすことで、いじめ等の問題行動に発展しないようにする。  
○ 自分や友達のいい面を積極的に見つけられる児童を育てる。そのために、道徳教育のより一層の充実を図り、「ボッカボカの木」にたくさん意見が書けるようにする。

○ 家庭との連携を大切にする。問題行動が発生してからの教育相談のみではなく、子どもの情報交換を常日頃から進める積極的な教育相談を推進する。  
○ 自尊感情と自己有用感を育てる指導。子どもが努力する姿を褒める意識を高め、ストロングポイントサポート(長所支援による気スイッチON)栄えある場所での称賛の機会をつくる。

○ 話は、目と耳と心で聴ける児童に育てる。相手を大切にしたいや、正確に聴きとる力をつける。  
○ 体力の向上に努める。特に、持久力やボール投げ、筋力の強化が必要。縄跳びや走力、ドッジボールなど年間を通して行う。  
○ 日常生活で出会う様々な問題場面において、問題を解決するために、場面や状況に応じて、必要な数量やその関係をとらえ、図や式に表したり、結果を適切に導いたりする力の育成に努める。そのために、読解力をつけたり、科学的思考力を高める。

○ 基礎・基本の定着なくして、科学的思考力は高まらない。そのために、小テスト等を繰り返し行い、「やれば、できる」という自信を持たせる。「褒める教育」の推進を行う。

○ 基礎・基本の定着なくして、科学的思考力は高まらない。そのために、小テスト等を繰り返し行い、「やれば、できる」という自信を持たせる。「褒める教育」の推進を行う。

## 田皆の子どもを育む会



参加してくださいました。とても分かりやすく、有意義な講話でした。少しまとめます。

○ 皆さんは子どもさんにどのような大人になってほしいですか。私は「人生これで良かった。と今の幸せに感謝できる大人」つまり「今に満足できる大人」に育てたい。

○ ポテトでは、「今に満足できる大人」を育てるために、「脳みそと運動」の支援と「愛情」の支援を各児童に合わせたカリキュラムによって行っている。

○ 発達障害という診断はついていなくても、発達に凸凹のある児童は10人に一人はいると推定される。その児童がきちんと早期にポテトのような専門機関で専門的な支援を受けた場合は、「今に満足できる大人」に成長できる可能性が高くなるが、専門的な支援を受けずに成長すると、将来、うつや不安症が悪化する可能性が高くなるというデータがある。適切な関わりを受けた児童は40歳で経済的・幸福感・社会適応が高くなるようです。長い目で見ると、子どもの将来において、とても重要な支援である。

○ ポテトに来る児童は、学校では、再三注意される対象の児童が多い。叱られてばかりいると自己有用感は下がる。ポテトではできるだけ、怒らないようにしている。怒るのであれば、別の方法を考えてあげる。「叱る・罰する・頑張らせる」という3つの方法では改善しない。罰はよくない。罰を与えるよりは、ご褒美を与えるようにする。私たち大人も報酬があるから、働けるのです。

○ 例えば、姿勢がくずれ子どもがいます。注意するとその時だけは正しますが、すぐにくずれる。また叱る・・・お互いにイライラします。こういう子どもは低緊張で三半規管の機能が弱い可能性が高い。回転しても目が回らないという特徴もある。だから、目くじらを立てず、大目に見ることが大事。行動に注目しない。行動の背景に注目して、理解し、支援することが大事。そうすると、困った行動ではなく、困っているのは子どもだという視点が見えてくる。

○ 普通にできることを褒め、待ってあげる。信頼して、ほったらかす。見本を見せる。共感してあげて、安心や信頼できる関係をつくる。

○ 普通にできることを褒め、待ってあげる。信頼して、ほったらかす。見本を見せる。共感してあげて、安心や信頼できる関係をつくる。

## ラジオ体操・田皆ヤッコの練習



夏休みの間ほぼ毎朝、田皆コミュニティセンターで6時半から7時

までラジオ体操と田皆ヤッコの練習を保護者や地域の方がしてくださいました。ラジオ体操で体のストレッチをした後、田皆ヤッコの音楽に合わせて踊る練習をしたので、運動会で披露するのが楽しみです。郷土を愛する児童に成長しています。

## ダニエル先生ありがとう



ALTのダニエル先生が一人の都合で一学期で知名町を離れることになりました。田皆小の児童はとても楽しく充実した外国語の時間を過ごしていたので、とても残念でした。ダニエル先生の今後の御多幸と御活躍を心よりお祈りいたします。

## 新型コロナ感染症要注意

鹿児島県でも、新型コロナ感染症が猛威をふるっています。学校でも知名町の警戒レベルに合わせた予防対策を行いながら、教育活動を行ってまいります。不安な点がありましたら何でもご相談ください。

## 9月の行事予定

- 1日(水)始業式 集団下校 (いじめ問題を考える週間~7日)
- 4日(土)奉仕作業予備日
- 9日(木)PTA全体会・専門部会 授業参観・学級PTA
- 12日(日)田皆中運動会
- 17日(金)運動会予行練習
- 26日(日)字との合同大運動会
- 28日(火)運動会予備日



